我主張を認めさせ 體引渡を終る

危険を冒して歴史的光景をカメラに收む 三日軍春にて藤井特派員發

地の蠕臭的状況を認かにカメラに「チカの器、頻繁のうちからゲ・ベ

と窓際の鮮を悪べさせたほどであったらう、ゴールキン大佐はハハハ

の医術は全く接順に値する

身上が手載真で示した。

納めんと、身を削ぐやうな声が

職間に鑑忠 てゐる、

C裁軍解兵の死體引渡しの能式。後せしめ、さらにり戦闘の禁事を「して、後のして、承認さし」全部形字とし日本側の面目を顧知解別られた確り機堪養敵子に於、日ソ神文によることを強烈して深、洲領内、たるこことを厳談、國を主とした用語に修正、警名も飲みられた確り機堪を敵子に於、日ソ神文によることを強烈して深、洲領内、たるこことを厳談、國を主とした用語に修正、警名も以上午、日リ朝本の衝突によっ。ことを主張したが日本側に抱く迄。にり緊ਆのに非す、正ししく諸、も管部後の非機をせめてた日を音と止午、日リ朝本の衝突によっ。ことを主張したが日本側に抱く迄。にり緊ਆのに非す、正ししく諸、も管部後の非機をせめてた日を音

國境線に於ける事件の現地解

としてあった重大字句を膨見順ちとして作響されてんたが、

哀しみの曲吹奏裡に 化體引渡

境に於て…藤井特派員撮影二日午後三時長嶺子滿ソ國

は「塩面)・「終らんごする最高潔の「火奏種に今や引渡しを」

秋(ノーキエフスコエ)ソ職病院 盟軍闘デミードラ安佐の手によつ る能はざる狀景を正しく納めよう

警官隊の出動で無事

換のため彫御鑑二度を建造し

月池連 スタ

金く余個人の私見であるがが

なは日本の散倒監代監計事を知 ・なは日本の散倒監代監計事を知 ・なは日本の散倒監代監計事を知 ・なは日本のであるがらである

ムハル國務長官に對

之はアメッカを大型弦感 |辞職削後三海間に及んだ、

題した。 そして人口は三千五百

の百萬石からも干む白萬石に飛しと、果して、泣く竹や柴で

五上、花別に米牧権高か三千 天地之黃

器起草に著手したが、フランス跳 外係省當局は右決定に基き即後學 政府の影響に対する諸問題を

條約は防備制限とは無關係の

デヴィス代表は災米暗闘政府の海

生態手続きを執ることとなったが| ズヴェルト大統領に報告新録前の

東部代表スタンドレー提供は國務 ワシソトン 日電地 アメリカ

族つて國民資盛經費にどれ為役 時形的な新型軍艦建造競争を避 断形的な新型軍艦建造競争を避

|晩報し、産来過剰に務かき| いのか、分らなかつた。──つ○ | 皮質収量が一〇二から一二 | 國法にふれるのか、至ってならな

復等には、なぜ念佛を口にす

つそれ、近かつに日へ

遺骨凱旋

伊工直接交涉

ナ緑側は簀田一等軍等の鉄世區を も度仗民も飲いった所を健康連載談問のあげく として豚血を

くほか一品も失ばれず全部ソ戦闘 吉田上等兵の遺紀は鉄蝦手観を厳 を贈引返しと共に登田一等軍政と 憂けたが、その際ゴー

難す一方、右の如く重要事項に就 手感した、

間に平和的解決をなすの大成功を とパサついたチョコレート一箇を

長部丁事件の擴大を防止し彼我の一大佐(日本の少將級)は子に蓬草

國體本義の著書編纂

國體明徴を徹底

根外赤り

がかに小男が

て、紫茜を遂げようとしつくある 、この分では、善償福房の周崎の

読も展定をくり上げ近日中に明備|

連は、

されるものと見られる

に被鳴りつせけ 物をつけて健康 はまだ足も早め の難を問いてい 2 つけた威じが、バビリオは外쩷品を「色の生の生ゝの塊」があるか。

の顕微鏡でくらべて下さい。 粉白粉を、御自分で、薬局か病院





タイガー計算器

でいって笑ひだ

して通りかけた

タイガー計算器株式會社 京城出張所 京城府太平道ニノニーン(電話本局 2094番) 本的工事 大 医申 虹 頭 川 辺 町 中 南 道 ニ ノ ー (三次、田原原 - 展示・経路・経路・経路・大き・衛路・本天・安)





(84) の香り 考す雅は ホケット

絶對に檢算の必要はありません 従つて 計算上の不安と類雑さから解放され恒に 明朝に・事務能率を増進する事が出來ます 正関 平160.以上 カタログ開発

+

0

花 冶 畫作

任進はどうしたらうか。

|も、元より継続でない話はない。|
後が友安楽房とわかれて取つた道| いや、住匪のはらは、もつと酷 元関などといっ人々が、市中繁備
 ちには、併登制営末長とか、原助
 重りには、併登制営末長とか、原助

と、まるで思聞のやうに追いま 松明や篝火に冬の月をいぶしてゐの奉行となつて、夜もあか!~と

やなあい ったり、又、高 見て、遠く足を がその前を通る

に置んで去る話も

ようか。ばかないうちで職へる (さけんで) と、世界を

外側にとでも、どれとでも、パピリオ

はどう違ふか。つまり、ヒンを築め

とでも、といこでも、

どう選ぶかっ

五次早くも現じ

ご自分で御覧になつた、過宜」ともつて、文章のうまい揚いなやだしに『ほんとうにこの二つを書いて送つて下さい。 採點の標準といたします。 一等(三十圓)一人。二等(五圓三二十人。 0

締切五月三十日發表六月十二日(新聞にて)

権をなどら

光京電話] 宮中春の御恒例の 觀櫻御會 御取止め

於て行いせられる御像是であつ 職侵御館は四月中も新宿師死に

り、仁川客で埋食中、糖米部給仕 に觀々として、與金級失事性が起

持痛にペルメル 一歩を歩みあやまららとしてゐる 1.川萬石町有馬爾米部合領所

切を自供した

疑者として引数追及したところー 柳米部給仕に耐職したが、使来「列心路切ご京頭噪龍山霧間の連絡 木付は二月小県校を卒業し有馬「霧傷局郵沙野口五切君(?⊌)は京町野を自供した「四日午前四時頃京城御殿町一二

三日午前十一時、妻の實家京城苑京城梨太院町四二六金昌日(き)は **観したもの** ・ は何れも生活師から世を悲しなピードで走つて來た原第九〇九 に関ウ出た。前一公小町一〇七番地死大通で、フル 鍾路の交通禍

動脈に突き飛ばされ直に附近の脈。 極により解決する外なしとして近異(京成紅門町金龍線温機)の自一點の交通開源は電風線路の中央を

スピードで走つて來た原第九〇九

た、道整髪部保安部では将来印地 たこともなかつた

電車内でスリ

忽ち崩はる

萬圓を投じて明秋までに

の武徳殿

線路は片 側に 寄りてぎ てゐるた。く、纒言局(は「原真保用されて保」度調中 め交通量がいうじるしく、四月の一緒業が誰に動物してあて何も紹っ

原城齊大門から京城聯に至る竜車。安朝にかくつてあたのが原因らし。| 個を所持しており除罪ある見込む

近く警察部から京電へ交渉

末場の院で手笛を加へたが四日頭

く京都側にその旨を交渉すること

向つて廻行中の電車内で五十歳は二日午後十一時東大門から観光に

金岩明石(*)が東押へて東大門等 の差人の補の下から縁布を削り取

男を日曜した京都知る出場所は

舎と屋崎堰の中間に建設すること も新築する、武徳殿の延歩は

本府裏に建立する

上突き出した、個人は金浦生れ印

寫真說明一條門監修門 ・定理監禁 一で、現金八十路 春は個ましい、東大門青内だけに

東大門署管内に自殺多し

金麗中さん(き)は三日午後一時頃一鵬震蕩で死亡した、夜菜に疲れた一になった 京城で四町の京城府野戸郷内がの 頻々たる盗難事件

二便ごには目宅の内庭にある井戸門日午後八時京城査堂町二八二郎

1川有馬精米部で

み、避異に身を持ち崩して人生第 を思して大人も及ば山野な忍び込

大能な少年の個行に取調べの整祭

逓信局員が 飛込み轢死 神経衰弱らし



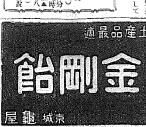
担場を使用してゐたが、今度いよ



萬圃で日本一の大武虚殿を本府縣







題北 同信

间右

中等選拔野球 晴 畴

本府に總督訪問 少尉候補生に對して

西の風雨時を装

九四大**在古**园 通知化

進決勝で

度五(二目)最高四度五最

育英商勝つ

青年金!

やむなくというしいなんで問題らん必ず

蠳

房

社會式株造涯西小 灘 四伊津县

宇宙器質を訪問し機関をなしたが 富に正式参報後間十時十分平断に

問論型に維め大體式の通りの訓話

でれることを期待する。この一を事多端な非常時日本に活し日出度く學校を卒業され

用器質は少島院配生を不拘第一

の各層里は四日午前九時年朝鮮神

中村八雲廳校、富田鑑琴機關校中村八雲廳校、島本、北川、田中各 田主計校、島本、北川、田中各 窓謀、鹿江、小肥南制官

練習艦隊主要職員

經濟職隊司令官吉田燕吾中將以下一

自以下の各兵十五百は四日半岐上、科学部、木府、動政國、豊富穰、統郡縣は三日仁川に入北、下土、城、南部州宮に養理し関丁敦明解 軍樂隊本府前で演奏

兵隊さん入城す

.

日本へ向ふ比島の観光圏

株父丸にて三日當地通過日本に **原初のフイリアビン日本観光**闘 た。フィリフピン頭立政府宣隊 海三日同盟] 獨立國府獨立常

上 するところは日本に関の修興経営、 新聞記書等で、一行の建選映画と 新聞記書等で、一行の建選映画と 要員良ギレルモブイランベラ氏に 重要使命を借るものである

成案なり近く實施さる

高血壓、神經痛

0

上州流如宋松ヒサさん方から渡穴 四日午前九時四十五分京城若草町 若草町の火事 れが具體系はこの標用来上つたの 治法の強化を纏ることになり、こ 陳を行ひ、新観武器をもつて半點 操與の一部を加へ、軍隊式賽備則

は、 ・ は、 、 、 は、 、 は

かの一般に対する 本版法で治ら

a栗で有名な の削製に含心を履けれて不治でない。 の削製に含心を履けれ

今津博士の

育英 佐牌、西谷松山 中山、佐伯(手)

スンに備へて鉱炭的な原理を行ふ、適出動して呼和型が中皮のビラを「ることになつてある期日は四月十次ンに備へて鉱炭的では化時の収集シー」所では各所線製が中心となり製食」「砂砂海」」を高点して押しすむ泉漆頂塞が形では化時の収集シー」所では各所線製が中心となり製食」「砂砂海」」を高点して押しすむ。

人々的に防犯

明城の三府及び水脈色の四ケ一館は、西島等にポスターを鯱布し、主他の手で案が練られてある

ることになってある期日は四月十一たためらしく証務署で取調べ中一日比南護間連盟條約締結準備等の

一連競手が居眠りして雨中を飛ばし

人业案目

拐犯人死刑 氏の愛、見動用限人ハウブト 大佐愛兒誘

凱を下げて死亡した の語に電力にハウプトマンは瞬間

洋畵展 八日から

「は明年の秋年である。財産には「二千人の参観者を戻る」。とこにに発定。若工は来る七月館で、鍵、坪、徳州錦原コンクリトー遺で初い。在の日前の中間に興散すること。も嘉潔する。武徳殿の佐原は「不った屋崎 磯の山間に興散すること。も嘉潔する。武徳殿の佐原は「不った屋崎 磯の山間に興散する」と、も嘉潔する。武徳殿の佐原は「不 武を加味、本殿の外は『宮道場印創』計劃〉 原理機、動政機、等の健康がある。 協新式物房の設備もあるという大 東京保原副師主催の題代二流大家 **始学、中寺町一、鈴木一連、宮本太郎、中海弘光、牧野虎雄、石井** 即、精髓部一即、原用正的、种 るが、面間密七、緑田刷片、山下番組飲扱で八日から東海殿に開催 庭は削川環的出作展と合せて

鈴木莊六大將辭任に伴び新寶長と 奈良大將決定 節節を長武信會を長一 大日本武

柳だ赤洞(新森州より東北三里)

続盛した、なほ四日正午練書職後 三で帰艦したが、府内は海里色が 三で帰艦したが、府内は海里色が

新黎州 是記」四日午前:時報刊

於赤洞に匪賊

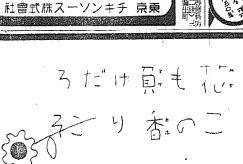
廿分にして撃退

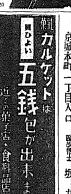


岩朝鮮本部に人電あつた

全般天氣豫報







■ **五銭**包が出来ました

坂井耳鼻咽喉科醫院 清試

五科

P

[#]コ 古が 質 筋 門 停留所(公設市場前)

テレハ マレハ オンジガ オンジガ

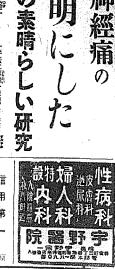
十後六時マデ 丁前九時ョリ

哥 門



要接続三個機然を見て此新職法こそ真に離病を制む。 栗甘の田池 神経域原





原因を明にした

▲ 「 一 同 (沙里院) が原工子 人信川同 (沙里院) かば ● 延安小 投訓等 (沙里院) 高橋百合子 契校訓等 (沙里院) 高橋百合子 ショ道 ● 和呼、所沙技技統署

屈田により元日器から隔貨田振飯(蘇許するので多少無源に卑แ切断せる無疑な難く 儘 のの言 せられ郷里佐賀へ帰名の

病助膜になやむ

11.

d)

法

の手 曽るがよい。

競技を彰行して下一般ですとする品でである。とすって 記録の の止配法を行づている。 不治か します。 おおいから歌歌出のですべっ。 ・ すから歌歌出の記を恥吸となります。 ・ すから歌歌出ができべか。 悪事にせているとなります。

ですく、「京城日報で見た」といるがすく、「京城日報で見た」となる記述機能開産「治療の最大をお出しなさい。 おしたします。最くこの歌へをおいたします。最くこの歌へにより、たいたします。最くこの歌へにより、ないたします。最くこの歌へにより、ないたします。最くこの歌へにより、ないないない。

功能山 流 社

◇野生薬草を肺病

京城日報讀者の大福音

を受います。くはしくにった。 ・ なた気があります。くはしくにった。 ・ なた気があります。くはしくにった。 ・ なた気があります。くはしくにった。

◇正しい治療法

九二七南電・三七九阪普振

一等席

威適北道區事修錬歩節務を命ず 産業技手 剛 尾 械

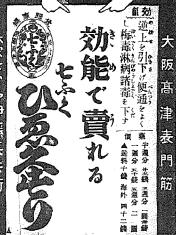






本家セジVや伊藤 長兵衛

健康でも分ない間がいつの頃からか白い赤いハンテンが健康でも分ない間がいつの頃からか白い赤いハンテンが会に、人名もの場所等には遊遊勝をで誠につらい悲しく困るに、人名もの場所等には遊遊勝をで誠につらい悲しく困るに、人名もの場所等には遊遊勝をで誠につらい悲しく困る。「人に信頼される良楽が見し多大の好話です二銭切手封入。」「世越の方に詳報す明石市祖和司」「自



丽

勿無死回 AOは有害なる過敏元を含有せざる世界唯一の結核菌製剤さして歐米の學 名間に鬱窒がある。故に治療、養防、診斷的應用に當り毫も不快の副作用 を發するここがない。

◆AOの治療的應用◆ 肺結核、眼科結核、肋腹膜炎、皮膚結核、外科結核、泌尿生殖器結核、喘息等

特に肺結核の初期及眼科的結核に卓効ある事が多數大家の實驗報告で確實である

◆ A ② の 豫 防 的 應 用 ◆

潜伏結核、淋巴腺腫、虚弱體質、結核疑症等 殊に腺病質丼に結核の疑ある學生ご見識に對しては是非接種を試みて發病酸防、

◆AOの診斷的應用◆

治療を乗ねたる無害の診斷法 AOは世界世五ケ國に於て使用せらる。國產細菌學的製劑にして歐米諸國 認可を有するものはAOを以て唯一まする。 告號注射 大人用 一智及五管人 小児用 一管及五管人

『解新星上』 養養元 大阪市東島北海四丁目 須 美 商 店 美しいなりに、つくましい姿を馮

美しい方ならば

えて悪心出來主せん目にも如何にも心の中が下

へておいでになるやう頭飾りなど

目立つ装飾けいけません。衣服

站



してをります、金銀糸を で街はもうすつかりなで の輸入姿態を形作っこの ラソルとショールー

陽差しにすつかりふくら

くとより述ぐ陽光、

で形にも色にも何にも殆ん

つたのが多く出てゐます、

ス会盛でございます。これ

ショール

と行話ものかたちでしたが

題に変化をみせた胴像上細たりから二重形が磨れ一重 ってゐます。生地は昨年あ 夢っ想の的 電分を盛 パラソルに 今春はこれを打崩する場に の――ある意味ではあまり 色に地域に整態を成したも

法の好みによつて選擇され **淡黄、淡小姿色なども化粧色に何といつても白が多く** 柄のの口美 しさを生

腺炎には即純生淋巴腺炎、

本田博士

題さ、ショール 物が五側から 陽正三法を行いつく一般運転原法所に認而することや日光伝法、太 た答が出来兼ねますが、

其の局 るものかが 不明の 鳥め茲に 胸雕

一国電がこの春のお伯殿から五曜、レース物で園 産品が五圏から十四圏出 がら五曜、レース物で園 はジョーゼット物が二個 京地には全然呼吸器病だけの裏門、崎野五郎の二人に對び、神界を得らすのと思はれます。次に「とっに収めて、連永縣左衛門、神 等に努めるとは何れにしても良統

す、パラソルは昨年あたり

ソルよりは大きく作りも風 服飾に詠げないものになっ

て塗りました。悪連のパ

先の曲つたものが出てふま

きりも昨年よりはやし長く

を断用したものが多く、に線を生かしたもの、ボカシ

見ます。なは瞬間棄用率は

いよく、實際期に入り加入 尖口端口的 なものを 流行ります

排世腺の炎症が果して何性に驚す 従って各々相違があるので置下の 無形態淋巴腺炎等観動が深山あり 化學生淋巴腺炎結核性淋巴腺类 して之れが原法を配鎖の異るに

医所の羊のそれならぬ不破数右

質から窓らず参つては補除をして

は陽春映画中に於ける超大作

イ最後の日

六年

悟道軒圓玉

一彌畫

お手討の死骸は

| 佐頭、やがてスラリと引扱いたは | 思ひ、

あてたが20もそれを試ふてサラリーのあるお方でございますか」
ビタリとそれを製石門の頭部に にお出でなざるが、後野機に翻移

脚晃々たる飯刀

ラモシ、お削さんは毎日お聖書り

目宅療法は 名い 呼吸部病に就ては何れま相當の原師ならば、内科的疾患中最も

干島の澤の海底に沈めろい

と言ったまく御殿へ座られた。

列んだ一家のお野芸様目樹除する

マイニ 左膝なものではございませ

私は性質病身である。所が或

と聞いた。其時、敷石循門は、

日活特作映画地雷火組則ニッア

と肚怨になると聞きまして、それ

意識が
か

明う云ふと慰禮は感心して、

「それは副奇特のことでこざい

之丞變化第二篇時上與 一次是通江,填營三部。高葉廣央 所等為大學的出語。 新華與 一 一年最子,高於獨之功。永平何太 都里。四十六日封切,永平何太 但四十六日封切,

がいる。

での大風劇!要怕と飛快に富んだのでの大風劇!要怕と飛光をとつたお園の生態。これに思のなせな典三郎。これに思のまたが終んだ大川端の大川のでは、一般を表情がある。

附下紹 大人卅銭、小人廿銭 記念特別奉仕料金

この気酸は必るべき器に入れ、

二十二歳の男二月

六日正午から來青閣 お花見と 1

値を揚げ得なかつた。

もなく、連水、神崎の神人も若愿。中主差記を限けて居ります。 本人の子破歌右衛門は甲すまで、と胎復になると聞きまして、

一川一錢(財利安尼亞(ます)朝鮮割烹調理研究會員幹部十氏 の謎門習會

素人の悲哀

射の総法射針が血管を外れて「ク

『クロールカルシウム』の解析は

(答) 本田博士

は筋像内に関わると美能を建しる

ロールカルシウム』が皮下石して

のぼせ性

言ではないやうです、元るもの、聞くも

(答)本田博士 それは船 管山に降ふのは乗り物が絶

刺戦を受ける場めであります。そ れが普通の人とりか設態だと云ふ 八は一世の日を侵されてゐる曹

ツク』など云ふ壺葉はあります。 胎館の一時間の内屋甕に『シーシ

栽め、それより日々の如く愛宕山

一部に名乗つて挙指する。 (総)日相姫らず其名は郷兵衛と出放)台所へ來て、瓊陂などを振舞はれ と親切な言葉。近頃では當寺の

三月に至るまで全へ、月ばかり。 これが元都の九年十月から翌年

怪盗司頂巾御師時上 光源 高河流域 化共调子光源 高河流域 化氯氢甲基甲基

に向った何よりの歌舞であるから、御夢なく真生せればならぬが、起復総の解練、吸の歌神、飲の歌趣などで、これが回雲地、梨人目に釈迦出来るのは、寒気の電撫、歌楽の歌樂、観賞の書、春出トラリガの繁物が、能展で游響史に如何に有効なるかを





カンカンで目方を測られたい ら間質が日一日と増加するから

選帳して、薬効が馴れて水た

別製治師側(八川ケ)十五(川) 六川ケ)十五(川) 六川ケ)十五 有田血液素 四





あり、巡旋さをするのもよろしい とぎ汁を入れて、煮る方法草がらを いもの歴を入れて二三回ゆでます

とよく扱けますその他のか交は米

は、まづ馬錦書か、さつま

て當所から江戸表へ逃がしたが、 この確密を知る話は速水、神崎の

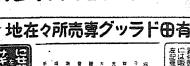
水弾になったことと同識の人は数「ハイ宜しらこざいます」

内に当然等の役割が認めて、 心懸けです、お週母だと云ふが、 「お前さんでこざいますか、毎男 警衙と一緒になって働く、その

ボラマウント映画特作日本版 動物保養館・香み呼い素質性の素制 他米関ラ・チュ基準を認知組 他米関ラ・チュ基準を認用組 がマック・オー土油 ジャック・オー土油 ジャック・オー土油 ガールニ六年の大放送 作日本版 朝

日盛の大勝公開 ・ 大勝公開 人場料も大勉强にて各等開放しまび米領する事に成り四月翌日より五日間再希望に成りました今回は

肺病熟藥





作 (11-12-13) (11-13 行线是上节线。 他注:回则行 Y 梅毒

古田高松鑑製 初は 資任票につき他の一般楽店 には販売してみませんから

新製(十七日分) 第用GET-8分)

藥盂梅

局部型に全身症状が漸次減らいで を行ひ、有害から不る不支症がや を行ひ、有害から不る不支症がや の内臓によって酷に排棄性口 一語により記憶の目的を達せられ上記さべき段振を子孫に遺傷せごう は 正記さべき段振を子孫に遺傷せごう

藥淋 制製八日分 九四

東省所へお越し下さい、地が風者は極々の顕告に

主薬とし、同意歌作形なまやう配剤せる公装を勘壁である。 は、内務省衛生試験所封緘の治林劑八種を が東窓の門家園品が収取。 新か東窓の門家園品が収取。 新か東窓の門家園品が収取。 新か東窓の門家園品が収取。 新か東窓の門家園品が収取。 新か東窓の門家園品が収取。 新か東窓の門家園品が収取。 新か東窓の開設園品が収取。 新か東の最初である。 本である。 本でる。 本である。 本でる。 本である。 本でる。 本である。 本でる。 本でる。 本でる。 本でる。 本でる。 、 本でる。 本でる。

に、内務大臣を會長とし、警察が が、日内所省館代派原所に於て複字排録せる実験が が、日内所省館代派原所に於て複字排録せる実験が が、日内所省館代派原所に於て複字排録せる実験が、 淋病患者は最良をする

記念で記

街の

三井秀男主演 大月方傷 市川

作オールト

and the second

平 课 年 是 朝 。 帝 城 一 都 但 本 局 前

花嫁さまより飾り立てる のはどうかと思います

上仲にどな會陸被又、かと式畑結の達友お

、らせまいざこが合調されか招でみしよのし と、は髪顔、は髪服の方んさ襞はの時なんそ うせまみてし意注を點ふい

招かれてある化塚さんよりも 結びがよろしらごさいます

けてゆく人もありますが、あれは

目に立つやうなけばけばしい服装

帯止めなぎも に、例へ略選でも洋製はとかく月

つさりとした貴金融類の帯止めが一が既保しいでせら

ツボンの

74

(空の巻) 古本三子

あまり式服めいて避らないで、あ

立ちますし、出來得れば和服の方

せう、と、こと様は高ひますが、狭してん 田舎は、歌調で、歌になる素様はないで

く、お太鼓よりは少し派手な匠のん。 帯の結びも華々しいものでな

お振袖の式場

こ、でく変にしまが、正手になっ、最なものになさることです。化粧ん。 傷の結びも罹々しいものでな。 紀のやうな、原いものよりは、上とか、波脚省をがさればなりませ」ようしく、お草簓なども、花蝶でとか、波脚省をがさればなりませ」

ません。なほメイキャップなどは好るして

よつて歌の襲をにもなるそうになつたわけ。空叫墨質の南流北半り、かうした先生途に

佐藤淑子さんは『アララギ』に入って、光州高女の政論をしてをられる つて既に、五年になるといふこと 私あつき職のものおとなし。

原城第二脳反から月白の女子大と進み、

が足りないと思います『學』一本が、今の婦人には、どうも能操の修養 の教育は考へなければならない、 これを確ふのには、歌の如き

器であります。要するに病気でな ぬ能つて貴下は内耳が健全で見る いので展集の必要はありませれ。

□ 人形の磨娘買ふ 放課母の職員宝に渡りに来し

わは小後の職員第一風景

武き櫂に入れ、千島の御へ掛ち出 | いのに私一人で掃除をするには手をこで表頭は光低の態にして、 'ます。就いてはこの辿り架地が張 して衣服を青薔(含せ旅費を與へ|が懸りませんから御暇のお観なら は他の結晶も指除をしてお買い中 と云はれた敷石衙門迷惑ながら

木村旺十二監督・松旭環天騎十返

堂

友達の結婚披露の これでに招かれ

で吐き出す氣分がし頭がほってが自動車、電車等に乗ると です心臓が弱い部でせらかどすぐ氣 分が悪く吐 き出す類となります特に笹重に乗つた

えず動揺してゐますので體の中心 **がふ高めであります。此の胎や自** 群と同じでつまり自動車や電車

芥所載 ・東京撮影所特作

僧 在巡

查

畑に楽の壺たちみづみづしけれ時雨あめばれて明るき楽しいでいる。 夏斎姿の花飾り吹ける 夏斎姿の花飾り吹ける 雅年はこ 展知のやうに

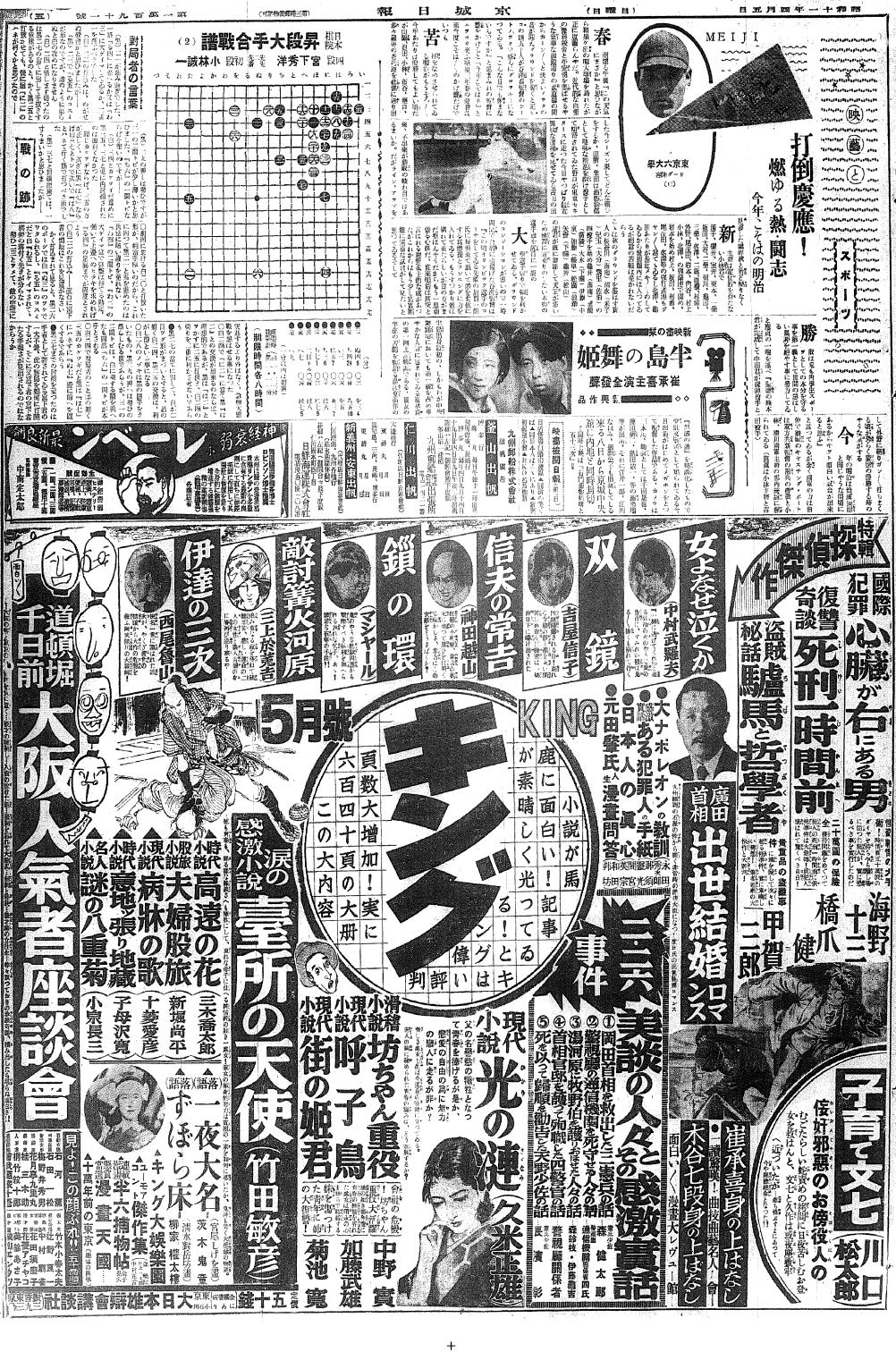
子女史·朋色陶山密·

萬歲 製場

私は、今日になつて、一層器はれるのです

ずル初祝鼠 小 恵子、外干部ラロ総則員片岡子忠城一人二役主派

を静に成りました今回は がの大文者大津お真一行 連及諸良札止の職況裡に 連及諸良札止の職況裡に がおりました今回は 開公削配藥價高



割强の増加

資本金百萬

國の政經情勢

告廣集募式株社會式株業産滿北

一年中一・〇〇〇 「大空二、大一 一大空二、大一

阿皮共同に 1000 日本 1000 日

附三ルビ版神番十六町花浪市戸神 (及 戸衆 象看) (基 戸衆 象看) (本 戸衆 の と カナン 富三(3) 話電 七八六一・六七〇二 六六五・四七九

搬に貫及次の如く消してゐる

取初の衝突は「ルニ五一 突がおこつたとは再二である、水外電古の曖昧な履婚線上で本軍が大陸に進出を開始して

軍の手に陷らば

我大陸平和策に影響するところ甚大

派遣するに決定し三日賦間代表す 府は十三人委員會に到して代表を

臤

接次郎氏は心 【思記

見は北天的に東を難

【ゼネヴア二日同盟】 イタリー

人委員會に派遣

伊が代表を十三

西大將は護病後三週間を維過し西大將は護病後三週間を維過して四月 相 順調に報過せるを以て四月 相 原調に報過せるを以て四月 担良好なるも睡眠時に不良のことをも、左上下 肢ともに知象運

1/1

兒

藥

は

第一の條件服みよいことが

ウアスコバ氏をしてアヴノール事 | 話】 貴族院議員なし

人關心を排ふ

山西省もし

ジアの関係」と関する吐散を出

ヶ月は衝突度数頚緊で殆んどゲび十月また起つたが脳近二、三年一月におこり同年五、六月及

外球古本めぐる日ツ南國間の師

て重要原行動に出る別は再三者。をもつて入起に轉するを例としてて印頭では激烈な抗議を提出し。 目される。田さ暦年八年以外に外三人

目される、即ち厭徳兀年以來三月

ア・ジ・

ア・の・

闘争

日蘇の危機は漸減

紐育タイムス所論

滿洲國貿易

經て四日の官職で起表した(單位像備金支出を左の如く決定軌数を

【東京底話】 政府は十一年度第二

本年一月上り三一合会が本年は三月においの三十五 輸出増加注目さる

水陸整備費補足 ここ、八八八 たほの正確の対象的に出まる日下國日ノ漁業体約取引度網絡製 につ、八八八 たほの正確の対象的に出まる日下國海東省所管 ここ、八八八 たびの事のがの対象的に出まる日下國

語力の諸原を物配ってある

航空解設備費捆足

2000元三元三

一月より二月までの貿易總額

朝鮮總質府教育費補足

文氏は四月午後三時十三分龍山縣新田第四十底縣長陸甲が約山下率

山下旅團長着任

太鹏敬青貴補足二五、八〇三東局敬青貴補足一九、七八二

育遇點部遊遊 四月四日午後四時間

順調

百萬圓の出題を示してをり國内經

世の機能を築り英世帰國政府の利 野北は野び生館化や暦できれる 初即に到古したと除へられる。 リー軍運出によりツアナ湖一 海を指地における 政府當届は

・ 原動物を注訳する。但し犯行権と ・ 保としてダブカリー語の他 ・ 保としてダブカリー語の他 ・ 保としてダブカリー語の他 ・ 保を見されるとこれでの通り ・ になった。 でダリー配行の方 ゆる機能化隊は一日コンダール市

答案を恢覚機画した結果、ブラン ダン外担に先づロカルノ

酸酸眠開 【パリ二日同盟】ドイツ政府の回 佛がロカル 會議再開要求

貴院改革急進

特別議會に建議案提出意向

副銀合公院・伽田(宣政)・伽田・副軍の歌軍に願して変更を交換し 電前・徳川(家選)・徳川(協願) が働合し常面の聞題である解談述 電前・徳川(家選)・徳川(協願) が働合し常面の問題である解談述

火曜會で意見交換

計し今後の財策を決定さればな、案を提示すれば「監罪事務に所能、来から法定上の続と目されてゐたドイン取居は今回の何字におい、月上の提談に對してタリンを担告した。能つてイギリス、リス既析は不だ回答を留保してゐ。 然不敬にフィリッとと歌話は不致フラスス、ベルギー、イタリー ると解されるが、ドイツ、フラン 然不敬にフィリッとと歌話は不致フラスス、ベルギー、イタリー ると解されるが、ドイツ、フラン 然不敬にフィリッとと歌話は不致フラスス、ベルギー、イタリー ると解されるが、ドイツ、フラン 然不敬にフィリッとと歌話は不致フランス、ベルギー、イタリー ると解されるが、ドイツ、フラン 然不敬にフィリッとと歌話と心思しない。

スーダン関策線に至る自動車路 デイツ政府は今回の四三におい、デブト政府との間に締結された 戦能の方針として次の如く通常し、イギリス政府は一九二五年 戦能の方針として次の如く通常した 変別にフランダン外相はフランス 政府の撤資は造水使用額に止る 変別にフランダン外相はフランス

英伊の對立尖銳化懸念さる

望する ナカ州に居住するモロ版は常初よ望する の最純重事欲総数に對してミンダの所はブラマセル乃至ベリを要 の最純重事欲総数に對してミンダ

| 「東京電話」有出新外相版に版出 が語者は一心同題となつて自じ、 | 「東京電話」有出新外相版に版出 が語者は一心同題となつて自じ、 の機器に対象は、 | 今年次であるから上下一致こうなど。

田原御別邸に御削在中の開院参戦中的は二日午後小田原縁に下祀小

際次長の悪職に奈頼した西尾諸垣一

東京医話」關東軍警謀長より参 きのふ着任 四尾銮謀次長

【東京電話】 勝沼書記官長は四日 | と答へ同四十五分曹妃を終つた、

藤沼翰長が歴訪す

内院各派に交渉

第八名と載したい。 ・ 改称の政務は人選が大雙長び、『中国・諸者・皇皇皇末』との年出 ・ のの会理に決定したいと思った際へ腕を開発するはずらならいてので会理に決定したいと思った際へ腕を翻録するはずらない。 ・ のののので会理に決定したいと思った。 ・ ののののでは、一般ので

と正臓に数字を示げてい、は建といったとけでも割らう▲もっために地下感が設けられてゐる

場から端まで潜泉その他を肥い

数を迎へて論の長老問題を聞いて

滕沼書記官長は午後二時ル段の

手挙万ヤード▲

のいたリノリウ

のパイプの全長

▲窓敷千六百五

御袋館を含上した後午後四時四十

總長宮殿下に邦説を賜り、斉田の

の色濃し 比島政廳不安

必要とする秋

麗の光錐ストラッチ工芸記長の報

わが國情勢の誤認、對内ゼスチュア等々

ソ家相互線助候約の締結を公送す。 参を拠認し負縮加議にも大部議を関境 へるなど政務に出てあるので外務 へるなど政務に出てあるので外務 へるなど政務に出てあるので外務 ては戦闘の意思がないものと見 では、対策を関す では、対策を関す。 を表すると表に軍事権にも大部議を関す。 を表すると表に軍事権にも大部議を関す。 を表すると表に軍事権にも大部議を関す。 を表すると表に軍事権にも大部議を関す。 を表すると表に軍事権にあるので外務。 では、対策のの関係を対策を対策を対策を対策を表する。 くびつてあること

極態度に出ることが出来なくな

取されんとする状況にあるが、瞳

- 合産連省の慶亜が、 右に第に基さ陸承省に出先機覇と く決心を励めてある。 一般に將來共進主義 、 るであらう 質力を以て継挙たる2 関力を以て継挙たる3

・三萬の兵力を以て衆哈卿省よ り鵜河に入り瀬洲國際凱を企て り鵜河に入り瀬州國際凱を企て のありと認められる

徹底を全てる如きことある場合は

時より軍人會館における軍司令官

の居息に駆む

置力を以て断乎たる返置を謝すべ 陸政策の根本方針たる果恵子和の

滿鐵總收入

新記録を示す

億三千六百萬圓

◆原玉重氏(良政党代誌上、帰越 ・ 1)三日午後ニ時令入城 ・ 1)三日午後ニ時令入城 ・ 1)一日中間大阪五十五分着入城 日中間大阪五十五分着入城 日中間大阪五十五分着入城 日中間大阪五十五分着入城 日本間大阪五十五分着入城 日本間大阪五十五分着入城

露

の際に意ばれる郷一の理 ・ 本学な悪趣等の慇懃手 ・ 大きないのと、し ・ 大きないのと、 ・ 大きないのと、

ず、會致命畝園富日持縛のことで、會致命畝園富日持縛のこと

*酒

極屋帯に丸が育児家

のでは服用に適しません く又無臭を取つやらなも く又無臭を取つやらなも く又無臭を取つやらなも くる情ががなる荷名繁で のでは服用に適しません

總會 二十八日午後六時から銀早留田大皇校友會貞城支部選手

蘇機國境を飛ぶ

「大連四日同盟」 演繹・手度懸道 靴内一般貨物 以大連四日同盟」 演繹・手度懸道 靴外・一車 収入は九年度収入の空間 2000 四、富口取入 (工・1) 2000 日 2000 日

A ◆森高源越氏(京城府東部出張所入 ◆森高源越氏(京城府東部出張所入 ◆洪台完氏 (京城府東部出張所入)

大連四日同盟一湖域十年度製道

當局は今後の成行を単原してある

1、支那における共産軍の活動と てゐないので日識勢力の進出前の人心は未だ十分にソ聯に前つ一結して以來十數年に亘るが蒙古

終了後と見られる。北も歌歌。を表明したと解される、北も歌歌

して研究を厭けて来たのであるが としては成立以来貴族院政革に期 時まで協議を割けた結果、火曜宮

必要があるため近く第二酸合を一する歌目である

口族

証証を遂ぐることには全間の支持

如く四つの概測をなしてゐる

るが割下の情勢から見て大體左の をり、事態の推移を住目しつつあ 進騰するかに重大な縄心を有して 地にするか既は他に進路を求めて 軍では共産軍が今後山西省を根據 の運用は共産軍の勢力によつて撃

博歌・ジェート債系機一盤は突加一交綿では直もに流波を決出した。 「大器・コーローで送り、所属のの背景によれば、日午後に一大、ボクラニチナキ酢部納洲國外、午前九時より軍司令部に於て開催、ベルビン盟日同盟」 ハルビン衆・ロデューヴォの権力、飛翔し去つ「伊藤後初の全扇兵監投會線に四日

見玉、大串、山岡、伊藤各兵艦長

といふ読稿記録を読し、九年度収っ六百五十三萬九十七百三十三圓

全滿兵團長會議

慶の經路上り見て今次の山西巡 間に亘り附近各所を依疑した上グ 【新京四日国盟】植田新司令官者 り訓示あり想該を遂げたが午後六一 たる後年数を共にしながら年後一一開き他の敵談とも受渉して具體的と述べた後後局長より断密事項に 27、大きのの日本のから、大きのできるというできないできるというとうからないとうからなると、 一端立の通り 出席、午前中は各長職長より情况

||慶立の情勢に懂みこれが實現を急|||郷し來る特別融質に建議案を提出|||外担=||「日銀出式に参内を明に) 上報館に提出せしむべく各派と提「ლ立する方針である(急興は有田 ほ敗革案は政府をして立案作成の、外交副新に続する兵體策を早益に 方針を決定することになった。な関する一般情況を詳細聴取したが

一、 貨車收入

プれも増収となつてゐる、収入内 して前年度に比し百九萬二子七百

政務官の人選を 十七組の成となつてある

れで臓器は十五年の高い要素すぞびえしむることになった▲こ 職職宮の規模の大きさは建物の期館に移るわけで あるが ▲ 新 ル・ナショナアルに脱石して 白崖の回要をレマン制昨に かりは青々工事が設行 職んで今にも崩 さの二、三年来 この二、三年来 内にも新殿版本 百萬。の大建築 になってあるが

應,

家 本

※○六二二版内督振

で本まだ顕書館だ だからざつと七ヶ したのは一九二七

一勃

循滴天阪大

勝沼書記言長は武民南京と交のの

つた。 の理場より完成が の理場より完成が の理場より完成が の理場より完成が の理場より完成が の理場より完成が

友之兒育

去した。よつて鱧板は直りに松野

問勧の像類でアメ いふ意大なこの大 にあない▲絃本能

社會資合屋樋

間頭

Y .20 Y .30 Y .50

¥ 1.00 德用包

に研究質より求り四名とする方針 四名とする方針 渉は個人的に逃げて無米伯

Щ 進

襲には必ず出走谷萬の順識が記載。本書は中等程度の諸処役を終へた 各の供売品で建盟する番組手 水登浦稅務署

て京城、仁川、水原の各股務署の 廢止され各署に分割

編入せられた水管川凸及北

部分血東面の一部の土地宝帳、

翠眨

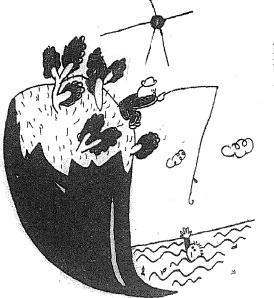
「娘さん、もうおよしよ」

るほど……

在房伊藏之助

假裝ができましたツで、どいつもこいつも賞「ええッ、口惜しいッたらありやしない・うき

ええッ、口惜しいッたらありやしない!





の組織に全然等級を掘ばなかつた 勝馬の蜘蛛に際して、若しもそ

傳力の強いことは萬人の知るとは 金子英雄著

製絲化學

最新化學通說 龜高德平著

馬の一頭を申とすには、甲の適

(1) 「本の(一国二十銭東京神 (1) 「本の(一国二十銭東京神 は、で、まの)、「西二十銭東京神 は、京・市 は、で、まの)、「西二十銭東京神 は、で、まの)、「西二十銭東京神 は、て、まの)、「西二十銭東京神 は、て、まの)、「西二十銭東京神 は、て、まの)、「西二十銭東京神 は、まの)、「西二十銭東京神 は、まの)、「西二十銭東京 は、まの)、「西二十七十 は、まの)、「西二十七 は、まの)、「西二十七 は、まの)、「西二十七 は、まの)、「西二 のる、本語の内容は目常生活、 する場合の敬科語としても週ー

わびずみの記

吉井勇著

『奥さん、日那が整排つて歩けないから、僕、背頂つてきましたヨピ

花 見

サラーサラブレット顔

種・デーラス種・プーニウス種

は、解膳、極勝共に各二十種であって、同様に『米』とあれば『米國 るが、側部では民度共他の職席を一産)、『彦』とあるけ『澎洲座』 内地の公認重馬では勝馬投索線(れてある。内には『内國産』の略符 の意で、 離 雑種 洋種 これ等の略符の上に更に置せら なは他の諸國産のものも

即ち「内サラ」「海洋」「露トロ サランレット種

考慮され、二個から二十個恣歌師

五人米以上である。これは既に二 原産地は美國で、蜀亀は野地一・

式なら投伝数の認金額から歩合金

適用者に割する態度方法は距離

(三割)を示明いた全族間を一番

(日曜日)

『ふむ、それなら風邪樂では利かんから

ちの父アあん、賴母子謂があたツで氣

小山內 翻

略行を以て記されてある。

一敷とか、遺骸力強弱といふやうか 點から、雨極のいづれか一方にお

似するやうである。サラブレット

区圖書 機織法大意 いつた傾向がある(平井生)

複雑してゐる。が撒い摘まんで云

から離散だが、被勝式の方は相當

春 風 駘 蓠

おだけが挑起を受ける、被勝式

の適中高に、五頭以上七頭宮の場 では出走馬八頭以上なら三者馬迄

てッいさなき置てい書を削名なんみはに他の。職が生先 んさ交お】

「証頂ていか前名もにミカナー

|されてゐるが、種類で最も多く脈||百年間以上にわたつて同思脈 を纏版してきたもので、

アングロ・アラ

アラブとの交配に使つて作り もので、その體制性能ともに 腿産は膨風で、サラブレッ

職ぐことになり二月中山より並夜てゐた事がは前途の三般務器に引

であるが、雑律者から、かく大風

週間を要し、これに要する船

巨船ペルー號で歐洲の市塲へ輸出

運賃だけで二十四萬圓

なく便に使用であるがこれによる

第二後試験通話を行った 「1955を)」

の海洲大豆の出貨をみることは崩

尊いお寫眞

城津郡當局の仲裁奏効し

積励といふことになってをり、清

▲良宗面一概楊川回一門及水門山面の一部を原化面に合併 ◆新浦面 ◆ 一の一部を信息回に合併 ◆ 新浦面 ◆ 一の一部を原化面に合併 ◆ 新浦面

にめ

・ 青一 北西部の四部合は去る一 日 別後表

合

【羅津】以入札をしてもなほり第一

羅南」デンマーク汽船オーロラ

オーロラ號

兩者が圓滿い合流

高質の方々の御懇舅などは無意。對韓國肥実師組合の紛奪は郡宮局「針に基くものであることを異々と」た時間第三窓に自出たく解釈した維爾)新聞継徳などに掲載され、願から掲到立した申省網天師組合。利益睢原の外他章なく道電局の方。するととなり一時喘影を投げてゐ 「城津」既報、総市音網原業の頭「新組合結成は決して城津業者集局」認むるに至り削率器故として

竹内知事も臨席し

めに大いに電勢を添へるべく記述を明能、監控關係から朝鮮館のた

を進めてをり、その期日は大體五

直通列車

・しつかり魍魎したとし ・しつかり魍魎である。 ・しつかり魍魎である。 ・しつかり魍魎である。 ・しつかり魍魎である。

はずであるが、簡単中に威北テー 印幕があつて暦〇度利の遺跡及び

躍進咸北のため氣を吐く

大試験を受けたと ご年と親朋女手技 と近れなが今回弘

断く傍ら、上級學から韓三年おとな

羅を試け一般から右の趣言で古 を遂げ,結局北川漁業組合長から「設した結果原組合順もその設定を「「西書」去る二十一日午後五時四編電禅地では今月から飛線の縦。剛組合代表帯顫眼、驪意なき思惑。紫紫のため遠郷遺台間の合流を方・老人の「熊木死鴫豆」の間に牝花に東郷はカ勝ちなの「の院殿により一日正午郡座跡部で「遠、薬酒平前のため終党水産城地」「老人の「熊木死鴫豆」

· 嬢獨唱會

今五日午後七時から第一普校講堂

女高普、永生女高普、各新聞社支局主催—愛國婦人會支部 後援—咸興高女、同 會員券——特等席二圓、普通席一圓二十錢、學生五十錢、 午後七時から泉町小學校講堂 前賣會員券普通席一圓、學生三十錢

主催——

京城日報元山支局 し後援會で指定席一圓五十錢一等席一圓に割引會員券――指定席二圓、一等席一圓五十錢、學生五十錢、但

信志を敷急場、像定の搬職を終へ **鐵原** 午町十一時官を は番雪しきりに至る盤船山に官民 諾立金を共にして脱資した

みぞれ、三日咸真の記念能能「撰三百本を観せげ、鉄つて一彫折「京在さの文字を答真の訳にくつき成趣」、群といふに三日経きの一木百五十本と桁の蓄限にかくる山「覚重を含せ五種連辑、明らかな新成趣」

川野な緑に

各地の記念植樹

有志の密附による苗木を和湯至之が、この日羅郡皆民数十名は晴れ

裡に値、中域を共にして脱館した

畜産界の至寶

中央畜産會から

島貫技手に功勞

存ひらく ソプラノの

城北道屋が跳資産の島氏

初の競馬も同氏の斡旋によっ亘つて盛搾・威北道における。正四年八月被鮮以來畜産各般

十四分維密紋列車

一に對する功能 ・に對する功能

高長 同上 、一旦關任 、一旦關任 、一旦關任

咸與女高曹校長) 支局來訪新任佚遐 (咸興中學校長)

絶対手能せぬ魅力のエキス クロバー

"居保安課長)

昨年上二月十 久五郎技手は

内の脳家鵝戸敷十七萬二千八十 一 師将小作農は二朝七分五順の四-た──昨年彩砌部によれば咸南 一分七順偏の五四、五八八月▲とはいへ咸南の脳可樹橋はまだ 三二五月▲自作兼小作戲が三朝とはいへ咸南の脳可樹橋はまだ 三十五月の内容は カーカー 五月の内容は カーカー 五月の内容は

咸南農村の現狀

新聞雜誌をこれに申受け月一回焼

品評會

咸興】公留党新桑镇十二萬國、

成興の起債

時州郡を留では各種品

素晴らしい成績

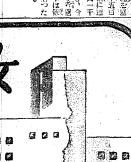
京城清津間の通話時間が 約四分の

に短縮

自作農は三割八分

惜まれる辻さん

本のでは影響を主要をは、全体に対したが、風感にはたいなのでこのコースが、四世三だび入場に対したが、風感に対している。



、妹だし業平を校學女 るくつを力魅く輝にさ若

到祝遠さん。たけ昭和八年の託成の広が上には惟かしい光明が待然の左郭力には惟かしい光明が待然のと評估



在である(葛萸は森門人も郎氏)在である(葛萸は森田とうては財産と一て貴重な存成手に出ったとして財産とのない。

の罪ではない

県田本府技手の診察で判る

楽として銀行方を特許せしむる性 | 塩と第一塊頭とを連絡する通路膨路の中一部を解認に市街地部電車 | 発置を施行せんとするもので停止

通水は二三週間後

を耐識したが、本工事は兩級で建 に線路構製商所には經而十五米の

大腿半である

座聲をあげた

として削立準備中の成果終発置は一では河床と平野が発んど平面にな「成興」 府民多数の京志表示機關一から附近河底に土他が窓積して今 誘致に向つて邁進

金選杯の諸氏脈に酢臓戯内鮮十名

鮮滿の共榮は

補洲國視察から歸任した

竹内知事の土産話

水禍解消

里心を蝕む

さつそく對策講究



「清州」遺では本年度をもつて」 名の道融製で配く切り扱けて来た 事務所は四個一段記述が完成し十二年度から ので、本年度からは能来の融製庫 と取ったとしまれてのであり、備労製权十 の能能を関し続いのを乗り、本年 になった機の建設される語であり、備労製权十 の能能を関し続いのを乗り、本年 になった機の達成される語であり、備労製权十 の能能を関し続いのを乗り、本年 になった

忠北學務課で斷行

要会戦を設けてゐるにも知らず四一 とった 歌師皆の夢及、それに卒業生指 であつた遺跡撃一名を順発して指駆撃戦け戦 似することったつだ。 歌師蟹の弾脈を駆し線撃陣谷を帰郷等いよ / 一般を開発の事務及び 数一條とし題に一名を増越して指駆性野熊の夢及、それに卒業生指 であつた遺跡撃一名を順光して定敗を難けてゐるにも知らず四一

けふ釜山で代議員評定

想演館二、諸事

の結晶百五十名を選び

ことによつて解決することになり「『によつて更生した高が3/《耶洛』の達成に記事に膨腕を突破した事識し新塾費六萬圓を年駆<equation-block>置する「を生まの資本として形と努力の結(健假却、副業の含地化、自力更生畢業艱難譲守一門平均二圓の増配を「中であつたが組合の勝進資金甲圓「大部分は影系が続き苔脂とする鶴麗美に身段の二型綴鵬は本年度の「懸泥流風合の榊猴芝誠也茜を樹綵」する龍遊のもとに軽偏中であるが

紅葉の秋には開通

名は、去る二十九日後「校前設郡が出來る管で本年五月ま」小金剛と辞される俗雕山は一闘天」ないのに優み思北道では本年度に 【清州】朝鮮八景に第四位で堂々 加したが法住寺駅地へ通する採勝 た思北嶽悠郷所在、南鮮の一路がないので採履客の不便が映く

慶北の簡易校

平澤 面主催記念植樹は三|明助な植館風景を監接した

に決定してゐるが鬱陽縣の新設は學校は二十三校で各郡一校知能證

統營 即山東原主龍の副教

一三日の旗日を縁の

一色に塗り潰す

目力更生集を編纂

さ惚する美聲と

二階迄響く

聲量は

業組合總會

り曾以有志をはじめ各方面へ配本「原田、福誠兩校手を出鑑させ實地」の如く大郎リンコのロンドン逝出生年陣を掲載し本月中に助闘を終。修門することになり「、稗日中に「梅和佐爾氏が書選した、た住眠報生年順次、長

慶北道內體聚、星州、永

肉體に精力が漲ると

腹の底に聲量が張り切る

成の力で出る

ンが丈夫の

寛 応して、政界

は、 こと くてから 型にたり 四氏 である と ない ではいから で はいから で はいが ない と からしゃ、 する人や、 呼吸器が 弱 に変 用され、 逆も 野に 変 が ない 人がの間に 虚ん で はいが 多く、 息 撃を使ふと 非常に 疲労 と で で おい 人がの間に 虚ん で ない と で は ない と で ない と で は ない と で ない と で は ない と で ない と で は ない と で ない

全日と定め別戦器動戦で左記

なんと四度目の記録です

援も一週間遅ん

しや忘れ重

質下各自動師は前面に交通安全人れることになった即ち、當日 より質施し交通禍の防止に力能

第一に

晩少し宛愛飲すると

がを附ける 養強形癖の養命酒を朝というシンを強め を痛め易い人などが滋し

を多く使ふ人々は潑りい評判であります又頭 と云ふので、素晴らし

増進し 頭がヘッキリし脳力は たる元氣が持續され、

根気を強くなるの

聲を使ふく くて壁が嗄れたり咽喉

振興會看板紛失

出來るのも此のお蔭です

邦 京 市

窗 4 木 安 米 若

がなが益々多いから早て存せるとお客こびの

速御體驗下さい。

もせず藝道に

ら體中活氣ボカく~連がよくなり手足の先か

も温まり、寒さ知らず

螺째します、それが原鉄部して都一二月一日受付真真は神本人一部の「職の解析で出来が、」「既も体ます雑誌化とでありますが、」「既も体ます雑誌を螺版して即る一次の一部の解析へ行つて欲で「棚池出来ますのは、五六ケ戦間一 に野る修が少ないの (一に解れて 咽喉なども締め部に野る修が少ないの (一に解れて 咽喉なども締め部にて、静たしてあ 用は火河外を師張して附むと、難に位待ちょとがの場所 す、お前に起は九黄重音気の身後 (2) 大阪の関連発はも八里も勝 (2) 大阪の関連発は高齢 (3) 大阪の場所できますので、歌いがかり、大野に起は九黄重音気の身後 (3) 大阪の場所できますので、歌いがかり、大野に起は九黄重音気の身後 (3) 大阪の場所がある。 P版へと巡逻が留一概を下りた時は、身間も心もクタ

上して方式の

信州伊那の谷名産 製法日米專賣特許 臍帶用 一套五十段

愛の觀念を強調

◆北行可氏(陸軍運輸那組少佐)馬山谷、一兩日滞在

◆胃腸衰弱の人◆根氣薄弱の人

衰弱の人強精の目的

●金國有名の甕店、百貨店、食料品店にあり。 響養命 於料的師因撰, 代金引換は次料度書を助きます。 品切れ等の節は便宜上単草出張所へ翻計で下さい。

雕號發充養命酒本舗天龍館 東京與公翼上面四丁目 卅 宿地 所養命酒本舗出張 所

◆疲 勞 倦怠の人◆呼吸器羸弱の人 ●不眠・息切れの人

冷込みの人

H

弢

座後の婦人 體質の人

の復期 ディ

版植東京六八八五五岩 電話書山 五 三 九 八古

甕 蘼

并醫學 醫學博

博士推 ± 推 加藤醫學博士製造顧問

島醫學博士

獎

吸器を丈夫にムシ歯を

日から浸入する恐るべき停染病

がらか廣磨を御変用下さいまして、真の健康朝鮮三干萬同胞諸氏は、今日からこの衛生ほの健康を得られるのであります。
吸器を丈夫にし廟を美しく彈健ならしめ、眞吸器を丈夫にし南を美しく彈健ならしめ、眞 齒を防ぎ齒を白く强くするのが本齒磨の大な病、即ち『口から入る諸病』を豫防し、ムシ の通りでありますが、これ等の恐るべき傳染 な猖獗を極めてゐるのは、既に皆樣方御承知 されてゐます。流感なごも年々冬期には非常 如きは壺ケ年百萬人を超へると内務省で發表 ごの傳染病が最も重なるもので、 多くありますが、中にも結核や流行性感冒な る特色であります。故に、これを朝夕は齒磨 **空氣傳染によつて、口から人る病氣は隨分** 結核患者の

一、腐磨の外、ウガヒ薬ともなり工、場際の外、ウガヒ薬ともなり工、、口臭を除き口中及心身を爽快ならしめた、口臭を除き口中及心身を爽快ならしめた、口臭を除き口中及心身を爽快ならしめた、口腔 諸病 二、咽喉 諸病 の恐るべき病氣を豫防する、世界に誇る最等の恐るべき病氣を豫防する、世界に誇る最等の恐るべき病氣を豫防する、世界に誇る最新の腐磨であります。 新生ほがらか齒膽は、最新の學理を應用して 衛生の齒膽で、實に左の大なる特色を有して 衛生ほからか齒膽は、最新の學理を應用して

ピッタリロにあふ衛生歯磨供さんにも老人にも御婦人にも タバコのみにも酒のみにもお子

美を得られるよう切望致します。

ほからか歯磨の特色

生衞

動く推議されてゐます

の新趨騰として大方諸彦に推奬す を豫防するものと認め茲に最も進步せる革命的 頗る進步したものと思ふ從つてこれを常用すれ にして、角は且つ含嗽吸入に使用し得ることは ば口腔及咽喉諸病、流行性越胃、結核、肺炎等 大なる相違あり、口中を殺菌する其効力は著明 今回創製養賣された衛生協磨「ほからか」の處 方を披見するに原料及製法には從來の萬磨とは

醫學博士 ηL 島 黀 瑞

醫學博士

経過博士は

瑟 哲

御甲込下さい橋本代理店へ

町 城 土 府 山 釜

舖本堂美良本橋

店理代總 鮮

社會名合野中 屋古名 舖本

日十五量用使D 走 美三の僅新一てに変化ガウ

原学 02₹

夜にたて續け

一、節十一回履識オリンピー、加盟團領補助方針確立

乳幼兒の死亡率は高い

衛生思想の缺乏

『聖春版の子を聞き 子一瞬の楊旭』た武人院是警遣大佐の「「「版なエピソードがある。第一大尉「東京東西」二月二十六日皇曉、「代りとなつて叛犯軍のために遅れ」活躍してゐる陸軍步兵大尉於尾第一

奇しきゆかりはまつはる

京大公生 一直理

間髪師引了被下度併而為ニ海來ノ師高面ヲ泰鳴 一切ヲ繼承致シ四月一日コリ繁聚ヲ開始比り終 「投師帝とニリリ組被ア株民僚は上版と無限別が 作扱師帝とニリリ組被ア株民僚は上版と無限別が が表のの日本の一番の

特别辛贝

外務社員要集

書きよく 純國産 値の廉い ٦. デ空命 ンペニーリソウム 商卸具房文外内

定であるが、その競響馬は合作程制甲馬鞍部、各新古馬鞍部の三菱

自然的接腕を放送されてゐる

店商井澤譜版大



故松尾大佐の息松尾大尉に

中心人物たる安康その他の少肚將



SALE CONTROL

野摒膘區吞下市京東 两 īB 5 Æ

審九五九○图 番二九九〇 番五八二〇 番八八〇〇 番八八六 京 東 簪 綴 (クフシイタケタト) 規略 旭 府 壤 平 所張出

開始人態度らが迎香、盛んな原設り裡に三暦六分郷都里に顕顕巻より四日年被二時九分龍山書、フォームに於て領部、開銀巻より四日年被二時九分龍山書、フォームに於て領部、開建社社的鑑に登田一等東設もろ状版がした故吉田上序兵の遺体は上眺観に登田一等東設もが表の地域の中、ソ聯側の不「既麗」長総子國籍で現地練髪の神板の勝両中、ソ聯側の不 厳した(葛翼は吉田生等兵の面影と、龍山原頭の焼香)



、「にさぎがけて来る九日(木)安七 ◇『開 ケー木組上館、騰離散子舞『雲は墨 かれます 時半から京城府医館大ホールに開

準優勝戦組合

第七日軽優勝試合組合せは四日加

牙城競馬

(四日) は京城府

けふの天気

頭〕1チクババレット(韓田) ◆一回 本低摘新(一、八○○米七) 威継は次の通り

(昌德宮御賞典)

(十二日)第八競馬

| 概さん方へ行きしばらく医光にな一が、建価さんも世を飛駆・翻接いに(*_)は過止月に長男新説町の温東 - 次男雑館さんの家へ追いやられた

京城弘岡町 崔氏の 姑金姫女 さん | つて次ぎに次男京城府外水線里の

人を脅迫し合献八匹蘇を追撃端走 體協理事會 卵蛙積浮路 たのと人相之の神が複然せぬので を開催する

大田署必死で捜査中

更に同里な吉原方を襲ひ、握着に属る苦心をおけてゐる

姉の行方を捜す

息子を賴り所在不明

TO STATE OF THE PARTY OF THE PA

和本一九六九 松 窓 康 湖 大来談 大来談

認宣

東京市野島區地接一〇九八河地別東鉄定本會に申込次

石 無限製材株式會社京城支店 鴨綠江製材無限公司京城支店

十一年四月一日 取敢御读婆忘朝新翻述侯

敬 具

四四月月月 月月月月 十五 廿 日日日日

山出帆 代理店 朝鮮運送支班

鳴谷汽船株式會計

東語10118番